



第39回 日本人会秋祭りに向けて



◆開催日時：2018年11月17日(土) 14時～21時

青年部は吉野(3年目)、野口副部長(2年目)と今年、古堀新理事を迎えて秋祭りの運営を担います。また日本人会各理事の方々にも役割を分担して頂き、理事総動員にて準備を進めています。その他に秋祭り実行委員があり、長年祭りを支えて頂いている有志の方と各理事の計24名で結成され、毎月実行委員会が開かれ秋祭り開催月まで取り組んでまいります。

実行委員会の組織は、申請関係、スポンサー関係、チケット関係、ドリンク関係、食品関係、物販・水物・ゲーム関係、進行・内外団体関係、報道・広告・音響関係、設営関係、ボランティア関係、運搬車両・交通・警備関係と日本人会事務局から編成されています。

皆様本業が忙しい中で秋祭りの準備と開催に向け頑張っておられており、頭が下がる思いです。

日本人会秋祭りは昨年GVB・GHRAが主催する表彰式でゴールドラッテを受賞致しました。これはグアムの多くの人達に支持され、日本特有のホスピタリティが評価された証と思います。今年で39回となります秋祭りは、益々期待されるイベントにすべく関係者一丸となって準備を進めて行かなければなりません。

実行委員会、学生ボランティアや日本人会員企業の人達の手伝い等、多くの人によって開かれる秋祭り。この秋祭りは日本人会がホストとなり、ローカルの人達にも日本の文化やスピリットを伝えます。祭り当日は会員の方によるお手伝いが足りていませんので、この場をお借りして皆様のご協力をお願いする次第です。 青年部部长 吉野 文秋

商工部主催 トップマネージメント座談会 ーダイビング業界編ー

日本人会商工部の取り組みとして始めておりますトップマネージメント座談会でございますが今回はダイビング業界編としてグアムで活躍されているダイブショップの皆様にお話をお伺いさせていただきました。貴重な経験談やアドバイスなど盛りだくさんの内容になっております。今回はラッテ紙面に一部をご紹介させていただきます。全文は日本人会ホームページをご参照の程宜しくお願い致します。

[参加者]

- Mr. Brian McDermott [Rainbow Marine Sports]
- Mr. Hiroyuki Oka [AQUA Academy]
- Ms. Yukiko Gulick [Let's Dive Guam]
- Mr. Go Nakane [GO Dive Guam]

[司会・進行]

- 渡邊大輔 日本人会商工部部长
- 中根 豪 日本人会商工部副部长



[日本人会ホームページに掲載の全文内容]

- 海中の環境が昔に比べて変わったと感じられること
- これからの環境に対して
- 海の中で目撃するプラスチックについて
- 以前に比べて客層、客数についてどのように変化したか
- ダイビング業界としてこれからどのように日本へアプローチするか

司会: 海中の環境が昔に比べて変わったと感じられることは?

- A: 最近一番感じているのは気温(水温)が上がっている。常に28度、今年になってからは海の中が29度になっている。29度になるとある生物には悪い影響がある。それは英語でwhiteningと言ってサンゴが駄目になる。よく言われている白化現象です。特に枝サンゴが痛んでくる。私たちが潜っているところでもかなりの範囲でダメージがある。復活することもできるが今の状態では難しい。
- B: ブルーホール、クレバンスなどの外洋性のハナヤサイサンゴが特に白くなっている。

司会: サンゴが減っているのはグアムでも感じられますか?

- B: 減っている。確実に減っている。けれどウェスタンシヨ、コーラルガーデンとかの場所によっては未だに凄く元気です。唯ここ1,2年で急にダスキーアネモネフィッシュが消えてしまった。更にイソギンチャクが小さくなったと感じる。
- C: 去年は気温が高く、イソギンチャクの中にいる褐虫藻が病気で消えてしまった。通常のイソギンチャク色から真っ白に先がピンク色へ変化してしまった。今まで見たことのない色に変化した。
- B: イソギンチャクもサンゴと同じ褐虫藻を持っているため水温上昇によってサンゴから抜けてしまっている。ダスキーアネモネフィッシュはマイクロネシアの固有種であったためにいなくなってしまったことは本当に深刻である。
- C: ダイビング場所を間違えたかと思うほどいなくなってしまった。

- A: イソギンチャクがいないとダスキーアネモネフィッシュは生きていけないです。前はテーブルぐらいの大きさのイソギンチャクを見ることができ沢山のダスキーアネモネフィッシュを見ることができた。私のダイビングショップではその場所をニモ村と呼んでいました。今はいません。

- B: ここ最近はそのような変化が急激に感じられます。特に2,3年前より。

司会: それでは20年前の海と比べるといかがです?

- D: やはり20年前の海と現在の海を比較するとサンゴですね。今の海はサンゴがある気がしない。地形的起伏があるところは山があり、谷があり気がつきにくいですが平らの所を潜るとサンゴの減少はよくわかります。サンゴに関しては年々減っていったがイソギンチャクに関しては急激に減った。

- B: 要因としては気候の変動が大きく台風がこなくなり下から冷たい海水が上がってこなくなった。台風の発生場所が変化している。水が冷たくならなくなった。

2ページへ続く➤